



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キッツ

コード番号 6498 URL <http://www.kitz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀田 康之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 川口 忠昭

TEL 043-299-0114

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	82,744	△0.0	5,131	40.9	4,990	48.0	2,999	74.0
24年3月期第3四半期	82,762	6.2	3,641	△19.8	3,372	△19.2	1,724	△27.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,255百万円 (374.4%) 24年3月期第3四半期 686百万円 (△54.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	27.46	—
24年3月期第3四半期	15.78	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	95,908	56,810	58.3
24年3月期	94,981	54,489	56.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 55,876百万円 24年3月期 53,591百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.50	—	4.00	7.50
25年3月期	—	4.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	2.4	7,200	55.2	6,900	57.2	4,000	61.2	36.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3の「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3の「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	120,396,511 株	24年3月期	120,396,511 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	11,174,786 株	24年3月期	11,173,721 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	109,222,440 株	24年3月期3Q	109,223,735 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、予想数値に関する事項は、添付資料P. 3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連需要など公共投資の継続的な増加や企業の設備投資及び住宅投資の緩やかな増加がみられましたが、十分な回復にはいたらない状況で推移いたしました。海外経済については、欧州債務問題への不安はやや後退し、また、米国において緩やかな回復がみられるものの、中国経済の減速など、依然として不透明な状況が続きました。一方、第3四半期末には自民党新政権が発足し株式市況の回復、為替相場の円高修正による輸出企業の業績回復や財政支出拡大により景気好転が期待される状況となりました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間は、バルブ事業において増収となりましたが、伸銅品事業において大幅な減収となった結果、売上高はほぼ前年同期並の827億44百万円となりました。損益面では、営業利益は、海外において売上が好調に推移し、また前年同期における一部不採算製品がなくなったことに加え、収益性の改善に努めたことなどにより、前年同期比40.9%増の51億31百万円、経常利益は、第3四半期末において為替が円安となり為替差損益が改善したことにより、前年同期比48.0%増の49億90百万円となりました。四半期純利益につきましては、前年同期比74.0%増の29億99百万円となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### ① バルブ事業

バルブ事業の外部売上高は、国内向けについては半導体製造設備向け需要の減少による影響はありましたが、一般的に堅調に推移し、海外市場においても、好調の続く北米及びアジア向けに加え、ヨーロッパ市場において増収となったことにより、前年同期比4.6%増の627億28百万円となりました。営業利益は、前年同期と比較し採算性が回復したこともあり、前年同期比29.7%増の66億66百万円となりました。

#### ② 伸銅品事業

伸銅品事業の外部売上高は、前年同期と比較して銅相場の下落により販売価格が下落したことに加え、販売量にも回復が見られず、前年同期比15.5%減の131億34百万円となりました。営業利益は、利幅の確保と販売費の削減に努めた結果、前年同期比43.3%増の2億49百万円となりました。

#### ③ その他

その他の外部売上高は、フィットネス事業において増収となりましたが、諏訪ガラスの里の事業を前年6月1日付で売却したことにとともに売上高が減少し、前年同期比5.2%減の68億81百万円となりました。営業利益は、フィットネス事業において増益となりましたが、諏訪ガラスの里事業の売却による利益の減少などにより、前年同期比8.9%減の3億66百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、主に売上債権の増加により前連結会計年度末に比べ9億26百万円増加し959億8百万円となり、負債につきましては、未払法人税等の増加はありましたが、有利子負債や仕入債務及び賞与引当金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ13億93百万円減少し390億97百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払により利益剰余金の減少があったものの、当第3四半期の純利益29億99百万円などにより、前連結会計年度末に比べ23億20百万円増加し568億10百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ6億62百万円減の49億73百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加14億99百万円や、法人税等の支払9億94百万円などがありましたが、税金等調整前四半期純利益47億90百万円、減価償却費21億53百万円などにより、営業活動によるキャッシュ・フローは40億52百万円の資金の増加（前年同期は5億55百万円の増加）となりました。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

バルブ事業を中心に27億15百万円の設備投資を行ったことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは29億55百万円の資金の減少（前年同期は14億37百万円の減少）となりました。

### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

金利の低下を受け新たに長期借入金25億80百万円、社債発行による収入9億84百万円など長期運転資金の調達を行いました。長期借入金の返済32億9百万円、社債の償還8億14百万円、配当金の支出9億28百万円などを行った結果、財務活動によるキャッシュ・フローは17億26百万円の資金の減少（前年同期は44億8百万円の減少）となりました。

(注) 当社では短期の運転資金需要の発生に備え、当社取引銀行との間で総額38億円のコミットメントライン契約を締結しております。なお、当第3四半期連結会計期間末における当該借入金の残高はありません。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、平成24年10月31日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,674	5,260
受取手形及び売掛金	22,782	22,136
電子記録債権	—	2,212
商品及び製品	6,344	6,192
仕掛品	3,819	3,763
原材料及び貯蔵品	6,309	6,135
その他	2,350	2,303
貸倒引当金	△33	△32
流動資産合計	47,247	47,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,444	12,291
土地	11,198	10,619
その他（純額）	11,124	11,761
有形固定資産合計	34,767	34,672
無形固定資産		
のれん	1,299	1,171
その他	1,104	1,620
無形固定資産合計	2,404	2,791
投資その他の資産	10,561	10,470
固定資産合計	47,734	47,935
資産合計	94,981	95,908
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,541	5,113
1年内償還予定の社債	1,228	1,328
短期借入金	2,894	2,618
1年内返済予定の長期借入金	4,042	3,891
未払法人税等	484	1,398
賞与引当金	1,428	931
役員賞与引当金	99	—
その他	4,463	4,033
流動負債合計	20,182	19,314
固定負債		
社債	9,060	9,146
長期借入金	7,065	6,587
退職給付引当金	360	449
役員退職慰労引当金	278	293
資産除去債務	416	421
その他	3,127	2,885
固定負債合計	20,309	19,783
負債合計	40,491	39,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,207	21,207
資本剰余金	9,430	9,430
利益剰余金	30,563	32,635
自己株式	△3,917	△3,917
株主資本合計	57,283	59,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	977	1,083
為替換算調整勘定	△4,670	△4,561
その他の包括利益累計額合計	△3,692	△3,478
少数株主持分	898	933
純資産合計	54,489	56,810
負債純資産合計	94,981	95,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	82,762	82,744
売上原価	64,877	63,194
売上総利益	17,885	19,549
販売費及び一般管理費	14,243	14,418
営業利益	3,641	5,131
営業外収益		
受取利息	10	6
受取配当金	130	145
為替差益	—	20
その他	283	208
営業外収益合計	423	382
営業外費用		
支払利息	311	213
売上割引	234	226
為替差損	63	—
その他	83	82
営業外費用合計	693	522
経常利益	3,372	4,990
特別利益		
有形固定資産売却益	38	6
投資有価証券売却益	—	5
投資不動産売却益	—	4
災害損失引当金戻入額	11	—
その他	1	1
特別利益合計	51	17
特別損失		
有形固定資産除売却損	22	42
減損損失	62	105
投資有価証券評価損	21	56
その他	29	13
特別損失合計	136	217
税金等調整前四半期純利益	3,287	4,790
法人税等	1,546	1,757
少数株主損益調整前四半期純利益	1,741	3,032
少数株主利益	17	32
四半期純利益	1,724	2,999



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,741	3,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△349	105
為替換算調整勘定	△705	117
その他の包括利益合計	△1,055	222
四半期包括利益	686	3,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	691	3,214
少数株主に係る四半期包括利益	△5	41

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,287	4,790
減価償却費	2,212	2,153
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△593	△495
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	96	102
受取利息及び受取配当金	△140	△152
支払利息	311	213
売上債権の増減額 (△は増加)	62	△1,499
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,548	447
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△32	△150
仕入債務の増減額 (△は減少)	△628	△459
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	927	△88
その他	15	249
小計	2,969	5,110
利息及び配当金の受取額	140	152
利息の支払額	△369	△216
法人税等の支払額	△2,184	△994
営業活動によるキャッシュ・フロー	555	4,052
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,718	△2,715
有形固定資産の売却による収入	49	509
投資有価証券の取得による支出	△13	△12
定期預金の純増減額 (△は増加)	354	△250
その他	△110	△486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,437	△2,955
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,042	△292
長期借入れによる収入	3,590	2,580
長期借入金の返済による支出	△3,545	△3,209
社債の発行による収入	991	984
社債の償還による支出	△6,679	△814
配当金の支払額	△819	△928
その他	10	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,408	△1,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	△151	△33
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,442	△662
現金及び現金同等物の期首残高	12,707	5,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,265	4,973

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

[ セグメント情報 ]

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高					
外部顧客への売上高	59,961	15,543	7,258	—	82,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	133	1,895	27	△2,056	—
計	60,094	17,438	7,285	△2,056	82,762
セグメント利益	5,140	174	402	△2,075	3,641

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業及びホテル及びレストラン事業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△2,075百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,082百万円が含まれている。全社費用は、主に当社の本社の総務人事部、経理部、経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでいる。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はない。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高					
外部顧客への売上高	62,728	13,134	6,881	—	82,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	118	1,673	31	△1,822	—
計	62,847	14,807	6,912	△1,822	82,744
セグメント利益	6,666	249	366	△2,151	5,131

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業及びホテル及びレストラン事業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△2,151百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,153百万円が含まれている。全社費用は、主に当社の本社の総務人事部、経理部、経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでいる。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はない。